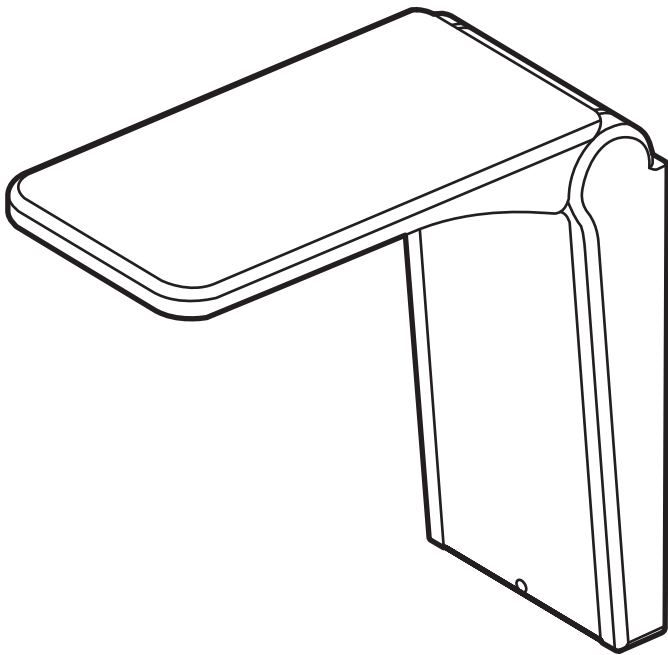


施工説明書

前傾姿勢支持テーブル型手すり FUNレストテーブルα

W650 品番 PN-L60001

W550 品番 PN-L60002



もくじ

●安全上のご注意	2
●各部のなまえ	3
●同梱部品	3
●施工前の準備事項	4
●建築構造別取付方法事例	5~8
●施工方法	9~10
●施工後のチェックリスト	11

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」（2ページ）は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 取扱説明書およびこの施工説明書は、必ずお客様（施主様）にお渡しし、保管をお願いしてください。
- 包装材や残材は、「廃棄物処理法」に従って処理してください。
- この製品を使用できるのは、日本国内のみです。

安全上のご注意

必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷などを負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



分解禁止

■ 分解、修理、改造をしない

製品の破損や脱落により使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。



禁止

■ 屋外や浴室など、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない

腐食により製品が外れたり、湿気などにより本来の機能を損ない、けがをするおそれがあります。



必ず守る

■ 必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける

土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けたら、製品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

■ 十分な下地の厚さ、および補強があることを確認し、指定の取付方法で取り付ける

下地に十分な厚み、補強がなく、各下地の指定取付方法を守らないと、製品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

■ 取り付け完了後、製品にガタツキがないことを確認する

製品にガタツキがあると、製品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

■ 取り付け時は、その他器具や壁との間に頭や首など身体が入り込まないように十分なすき間をあける

身体が挟まるなどにより、けがをするおそれがあります。

注意



禁止

■ テーブルの上に乗って作業したり、物を載せない

破損や落下して、けがをするおそれがあります。



必ず守る

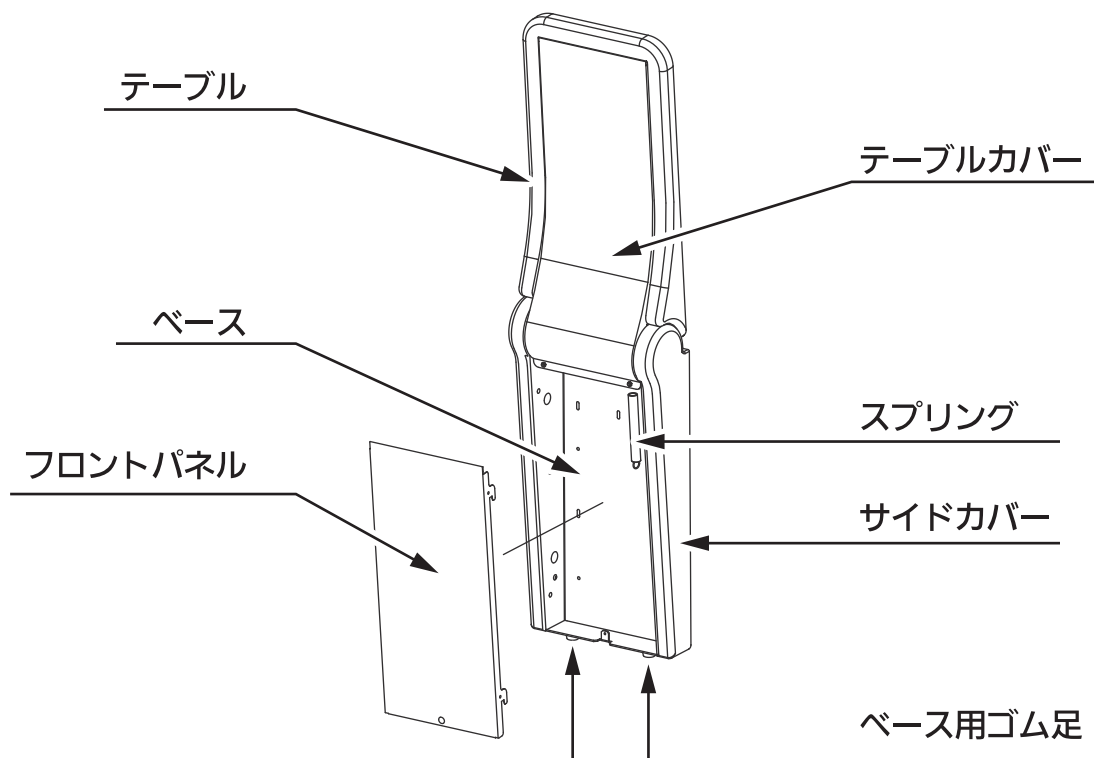
■ スプリングを取り外す場合は、慎重に作業を行う

急にスプリングが外れたり、コイル部で手指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

■ 直射日光や殺菌灯の光があたる場所での使用は避ける

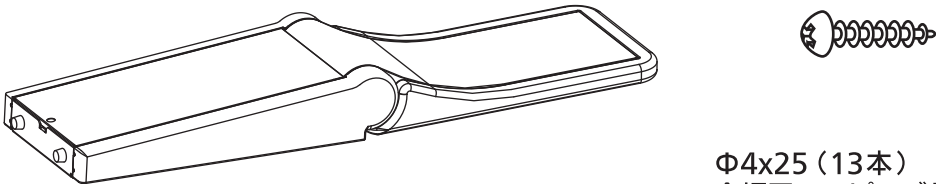
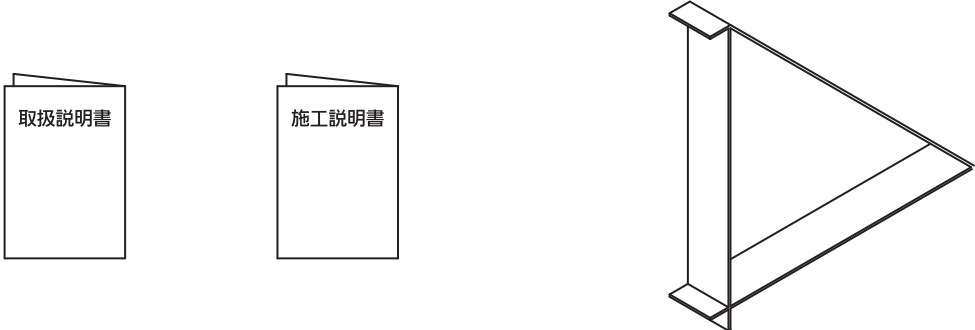
商品の褐色やソリの原因となります。

各部のなまえ



同封部品

次の部品があることを確認してください。

<p>本体部</p>	 <p>本体</p> <p>Φ4x25 (13本) 合板用タッピングねじ ※予備 1 本含む ※ねじはベースに貼り付けています</p>
<p>その他</p>	 <p>取扱説明書</p> <p>取扱説明書</p> <p>施工説明書 (本書)</p> <p>位置決め用治具 ※梱包材の組立式 (9 ページ参照)</p>

■ 施工前の準備事項 ■

■ 取付位置の確認

- 十分なスペースが無い場所には設置しないでください。
収納時に壁を傷付けたり、身体が挟まるなどにより、けがをするおそれがあります。
- 湿気の多い場所には設置しないでください。
腐食するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所には設置しないでください。
変色するおそれがあります。
- 凹凸や不陸のある場所や水平にできない場所には設置しないでください。
変形し、破損するおそれがあります。
- テーブルの可動範囲に障害物のないことを確認してください。
身体が挟まるなどにより、けがをするおそれがあります。
- テーブルと周辺器具とのすき間に十分な空間を確保してください。
身体が挟まるなどにより、けがをするおそれがあります。

■ 取付方法の確認

- 製品を取り付ける壁に十分な強度 (コンクリート躯体壁、鉄骨下地、強固に固定された合板 (t=12mm 以上) 下地等) があることを確認してください。
- 建物の構造に応じて適切な方法を選んでください。
- アンカーやプラグ等の市販品 (現場調達部材) を使用する場合は、下地との適合を必ず確認してください。

【建築構造別取付方法事例】

下図は代表例を表しています。

		木下地		コンクリート下地 (RC造)		コンクリートブロック下地	軽量鉄骨下地	
		合板	石膏ボード	モルタル	GL工法	モルタル	合板	石膏ボード
取付方法	タッピングねじ固定	○	×	×	×	×	○	×
	ボルト固定	×	×	○	○	×	×	×
	メカナット固定	×	×	×	×	×	○	×

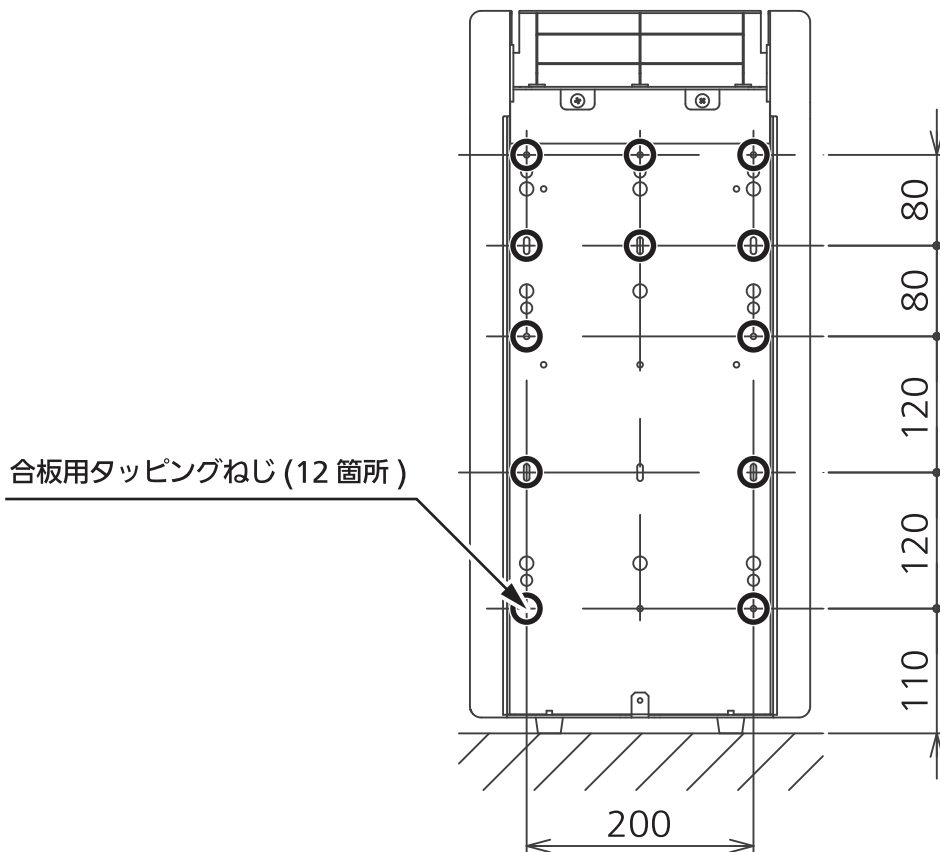
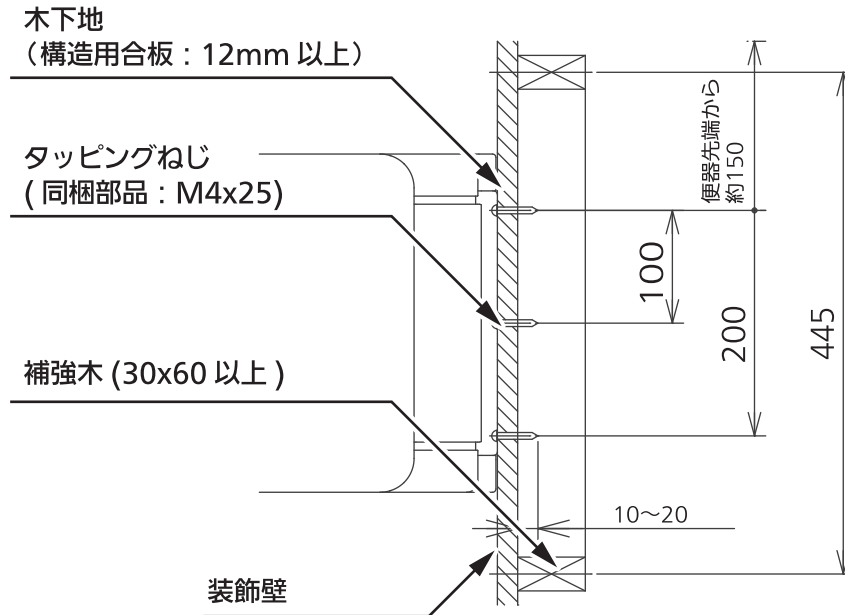
■ 使用する工具・備品

- 電動ドリル
- ストレートドリル (Φ3.2)
- ケガキ用具 (鉛筆・油性ペンなど)
- 充電ドライバー
- プラスドライバー

■ 建築構造別取付方法事例 ■

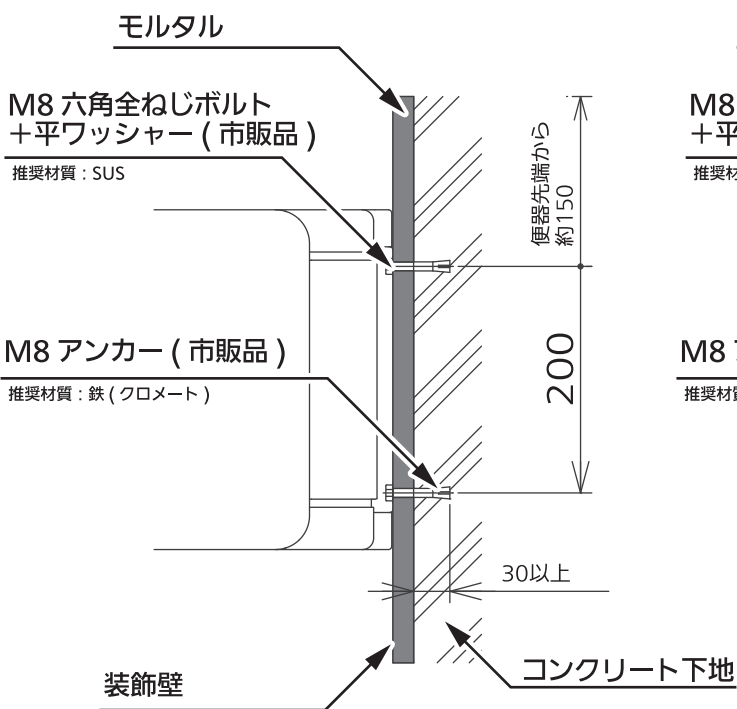
木下地：タッピングねじ固定の場合

- ・下地は 12mm 以上の構造用合板を使用し、必ず構造体との固定を行ってください。
(高さは FUN レストテーブル α と同じ高さまで必要です。)
- ・補強木 (間柱) は角材 30x60 以上を使用してください。
- ・補強木 (間柱) のピッチは 455mm 以下であることを確認してください。
- ・合板用タッピングねじの下穴は $\phi 3.2$ をあけてください。

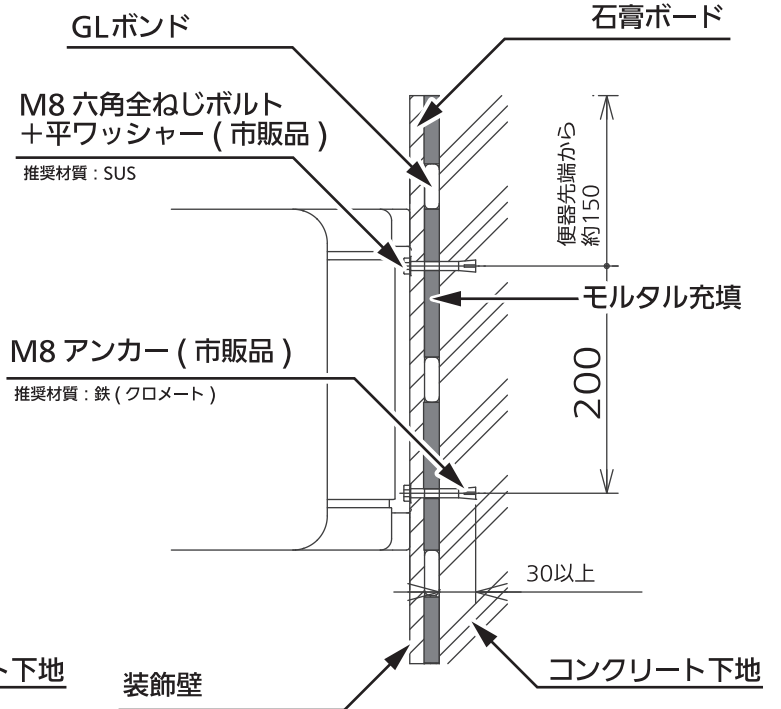


コンクリート下地・GL工法：ボルト固定の場合

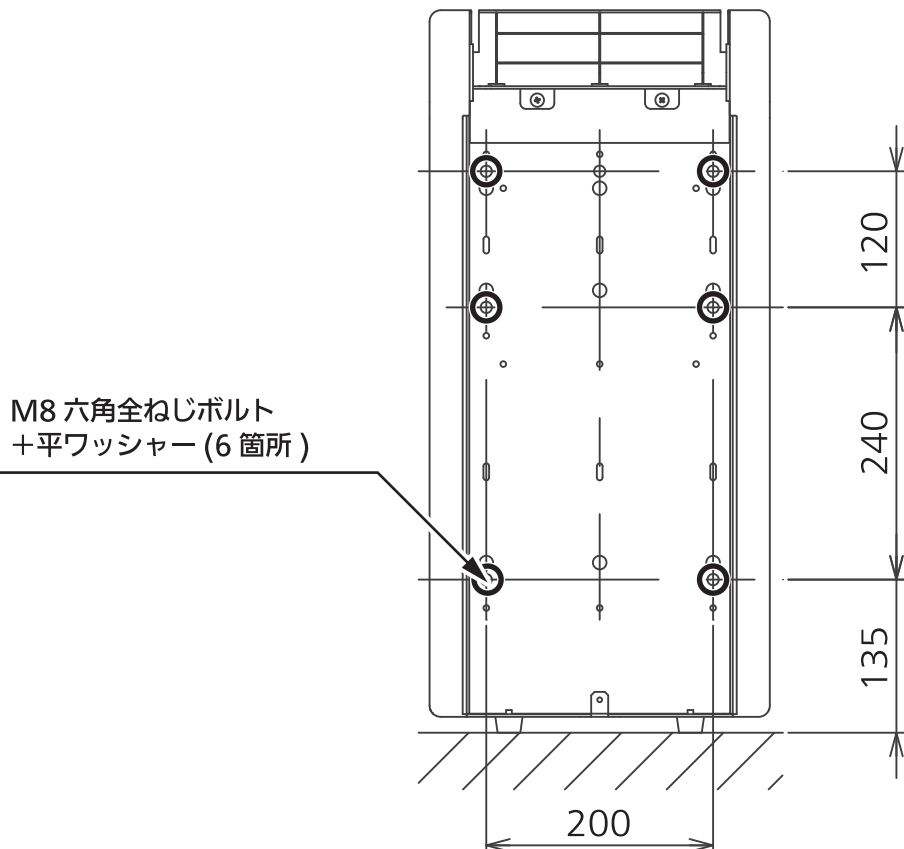
- ・アンカーやプラグ等の市販品（現場調達部材）は、下地との適合を必ず確認してください。
- ・下穴および M8 六角全ねじボルトは、強度のあるコンクリート部分に確実に定着させてください。



コンクリート下地の場合

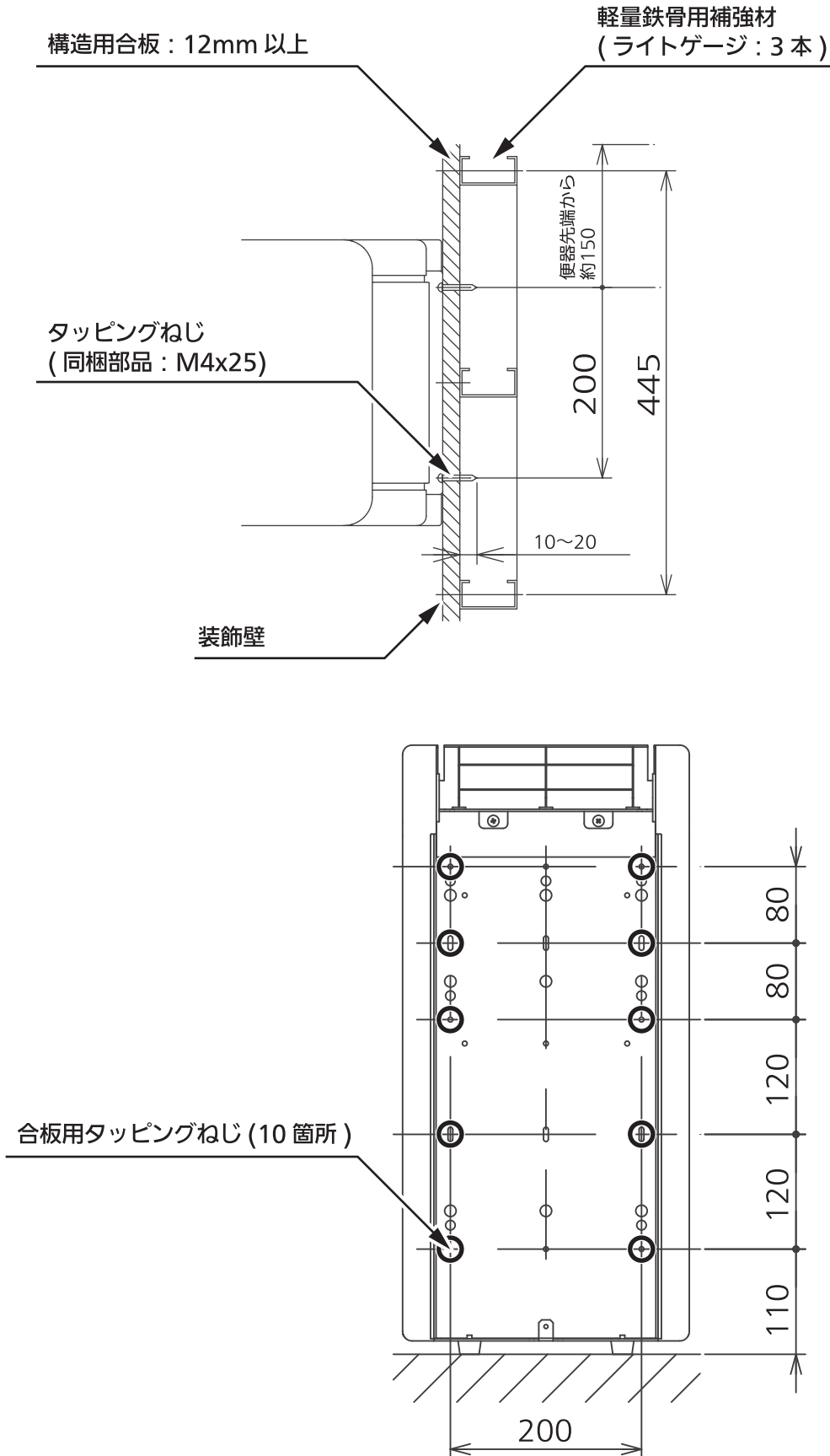


GL工法の場合



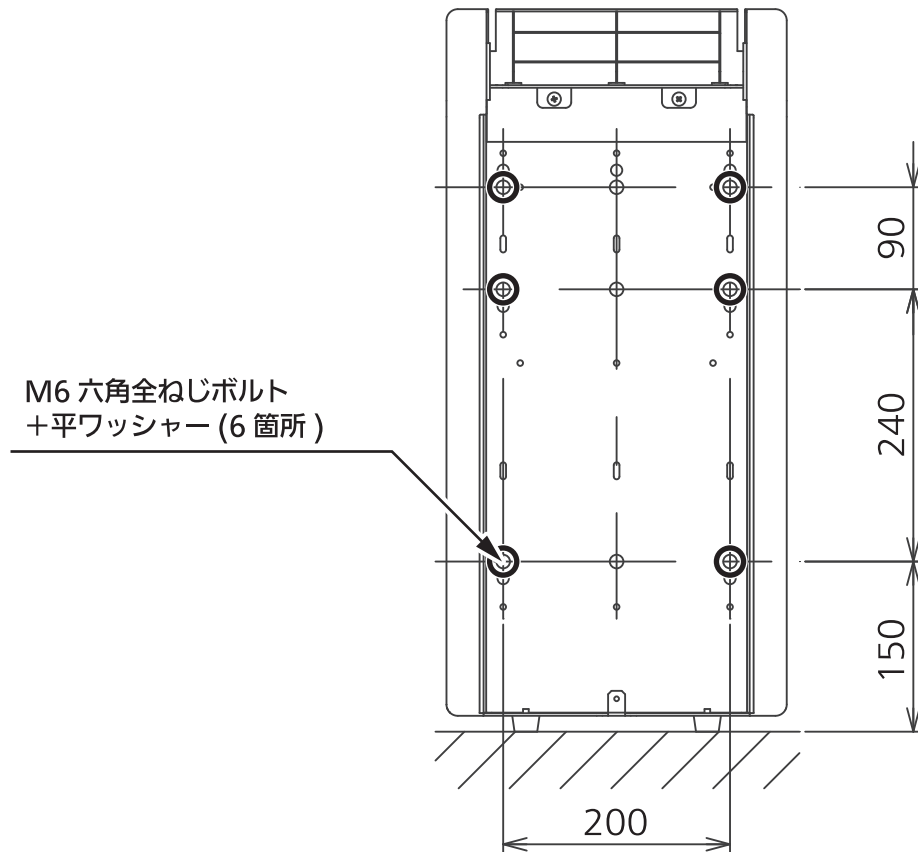
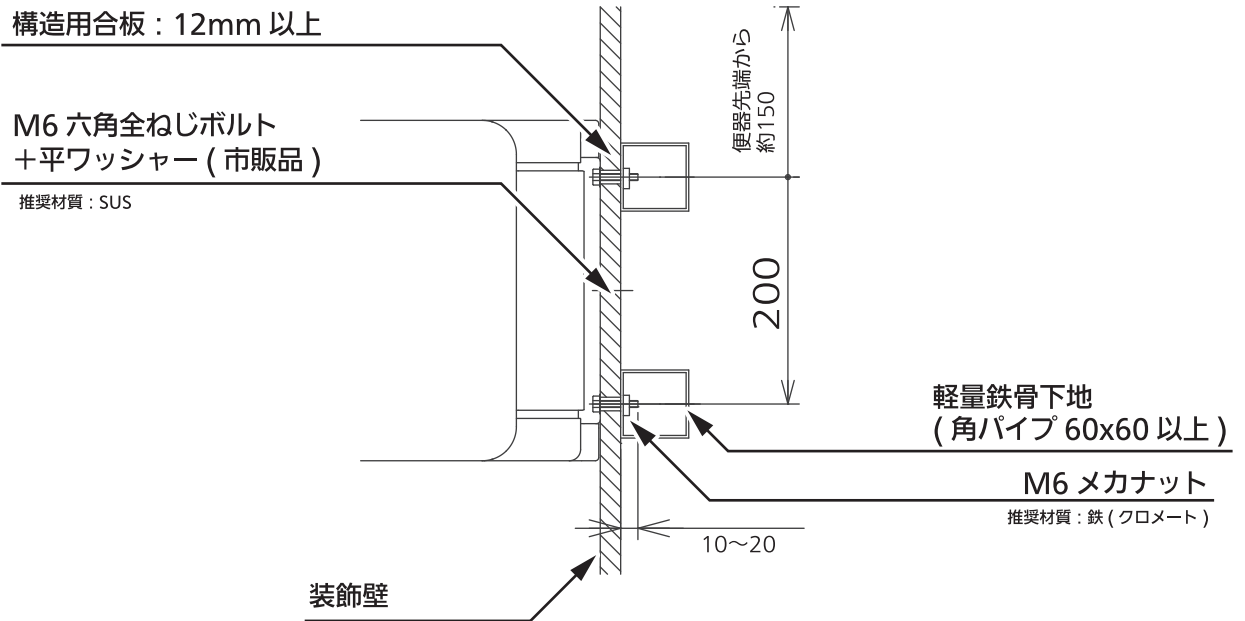
軽量鉄骨下地：タッピングねじ固定の場合

- 下地は 12mm 以上の構造用合板を使用し、必ず構造体との固定を行ってください。
(高さは FUN レストテーブルαと同じ高さまで必要です。)
- 補強材 (ライトゲージ等) のピッチは 225mm 以下であることを確認してください。
- タッピングねじの下穴はφ3.2 をあけてください。



軽量鉄骨下地：メカナット固定の場合

- ・下地は 12mm 以上の構造用合板を使用し、必ず構造体との固定を行ってください。
(高さは FUN レストテーブルαと同じ高さまで必要です。)
- ・軽量鉄骨下地 (角パイプ) は 60x60 以上のものを使用してください。
- ・ボルトやメカナット等の市販品 (現場調達部材) は、下地との適合を必ず確認してください。
- ・合板にはメカナット用の下穴φ12 をあけてください。

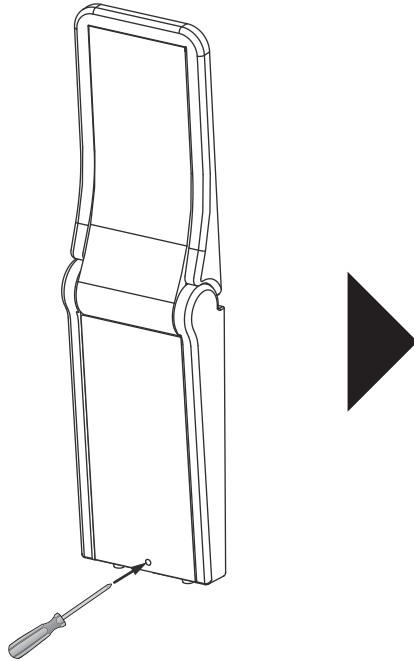


■ 施工方法 ■

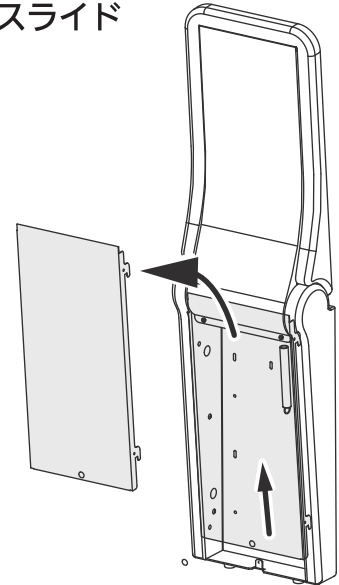
1 本体からフロントパネルを外す

1. プラスドライバーでフロントパネル下部の穴からねじを1本外す。
2. フロントパネルを上方向にスライドさせる。

①ネジを外す

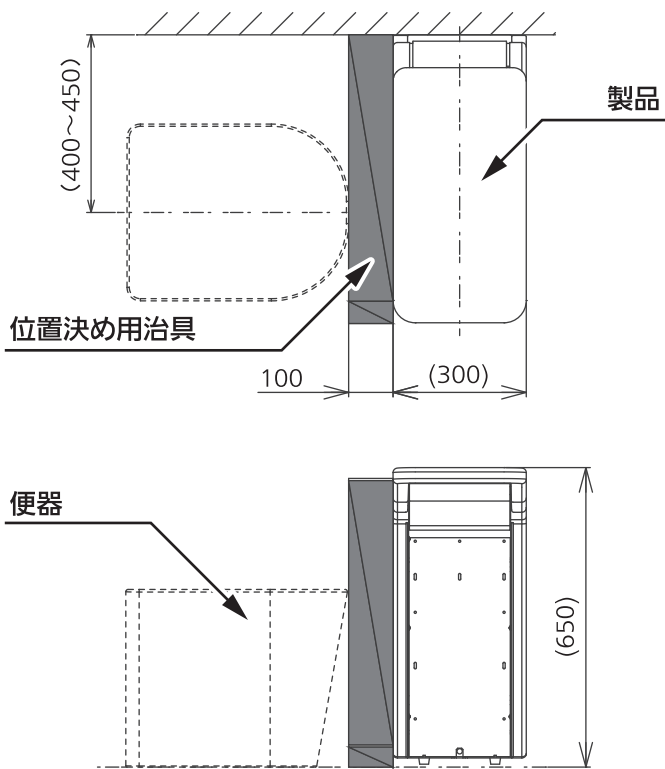


②上方向にスライド



2 壁面に取り付け位置（穴開け位置）をつける

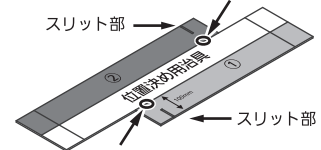
1. 位置決め用治具を組み立て、便器の先端に置く。
2. FUN レストテーブルαを使用状態にして、位置決め用治具に当てた後、ケガキ用具で印を付ける。
※便器先端からテーブルまでは水平距離 100mm が目安となります。



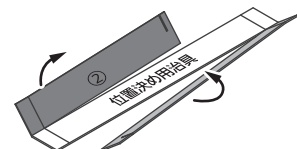
※ 寸法単位：mm

位置決め用治具の組み立て方法

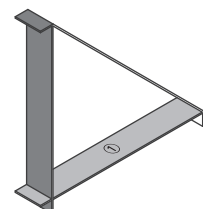
- 矢印部の仮固定を外す。



- 面①と面②を内側に折り曲げる。



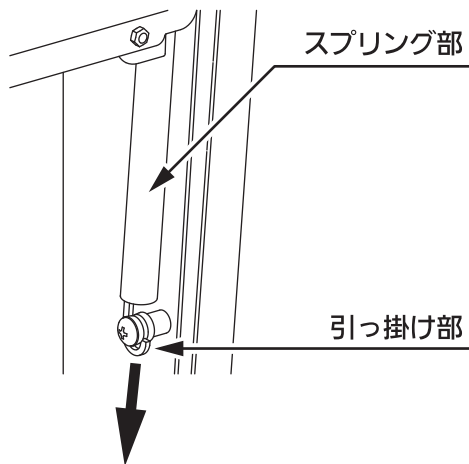
- 面①と面②の各スリット部を合わせ、面①を底面にする。



3 壁面に取り付け用の下穴をあける

- ・ 建築の構造に合った下穴をあけてください。

※下穴をあける際にバネが邪魔になる場合は、スプリングの引っ掛け部を下に引っ張り、取り外してください。



! 注意	
! 必ず守る	■ スプリングを取り外す場合は、慎重に作業を行う 急にスプリングが外れたり、コイル部で手指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

4 本体を固定する

- ・ 建築の構造に合ったねじ又はボルトでガタツキがないように製品を取り付ける。
※手順3でスプリングを外した場合は、取り付けること。
※製品の固定後、テーブルがスムーズに動くことを確認すること。

5 本体にフロントパネルを取り付ける

- ・ フロントパネルを取り付けた後、プラスドライバーでフロントパネル下部の穴からねじを1本取り付ける

6 確認（点検）をする

- ・ 施工後のチェックリストを確認する。

■ 施工後のチェックリスト ■

NO.	項目	チェック
1	ベース用ゴム足 (2箇所) がしっかりと床と接地していること。	
2	テーブル、サイドカバーにキズ・割れ・変形・汚れがないこと。	
3	テーブルカバー、フロントパネルにキズ・割れ・汚れがないこと。	
4	ねじ又はボルトがしっかりと固定されていること。	
5	スプリングが取り付けられていること。	
6	製品にガタツキがないこと。	
7	テーブルを使用したときに、壁に異常がないこと。	
8	便器先端からの水平距離が 100mm (目安) になっていること。	
9	手すり等の他の製品と干渉しないこと。	
10	フロントパネルがねじで固定できていること。	
11	取扱説明書はテーブルに貼られている (ねじを止めていたテープを使用)	

